

# 学校便り 10月号

令和3年9月24日発行

和歌山市立岡崎小学校

学校長 塩谷 通功

## 嬉しいこと続き・・・

ある雨の日のことです。校内を巡回していて、児童玄関まで来た時に思わず立ち止まってしまいました。

なぜだと思われますか。それは、傘立ての傘が見事に巻かれて整然と並んでいたからです。嬉しくなって、しばらく一人で傘立てを眺めていました。誰かに見られていたら、おかしな光景だったかもしれません。

後日、また雨が降った日の朝、児童玄関の様子を見てみると、高学年の児童が、巻かれていない傘の1本1本を丁寧に巻いてくれていました。鬱陶しい雨を忘れてしまう、そんな嬉しい出来事でした。

また、先日、東部コミセンを訪れた本校の児童について、職員の方から「岡崎小学校の子供たちは、挨拶がきちんとできて、礼儀正しいね」とお褒めの言葉をいただきました。朝の挨拶だけでなく、TPOをわきまえられる子供達、素敵ですね。誇らしく思います。



## 今、あらためて防災について考える

紀伊半島大水害から10年を迎え、各地で追悼の祈りがささげられました。

2011年の台風12号による記録的豪雨により、那智勝浦町をはじめとする紀南地方が、特に大きな被害に見舞われました。改めて、犠牲となった方々のご冥福をお祈りいたします。

また、1923年に関東大震災が発生したことから、9月1日を「防災の日」と定められています。これは、9月には台風などの災害も多いため、「災害への備えを怠らないように」と戒める意味もあるそうです。

学校では、災害から身を守る方法を知るために、想定を変えて年に数回避難訓練を実施しています。避難訓練では、「お(押さない)・は(はしらない)・し(しゃべらない)・も(もどらない)」の約束が定番となっています。他にも、ご家庭での約束がある人もいるかもしれません。何かあったときに集合する場所が決まっていたり、出かけるときには「誰と、どこに行き、何時に帰るか」を必ず家の人に伝えたりすることも身の安全を守るための約束ですね。

「防災の日」がある9月。改めて、自分の安全を守るために、みんなの安全を守るためにできることを考えてみましょう。一緒にできることはみんなで声をかけ合い、一緒に努力していきたいですね。